

連絡促進事業

## 教育臨床のためのプログラム開発研究会 (大学との連携会議)

### 事業の概要

事業のねらい 事業の参加者や長期宿泊学習の児童生徒と関わり合う教育支援スタッフの教育臨床プログラムの開発を行う。

期 日 第1回 平成22年6月6日(木)  
第2回 平成23年1月22日(土)

会 場 国立那須甲子青少年自然の家

参加対象 当所で活動可能な大学生の通学する関東及び東北地区にある大学のカリキュラム担当教官または教務課担当者、ボランティア担当教官

### 参加者

#### 第1回

委員 庄司康生氏(埼玉大学教育学部 教授)  
真岡賢隆氏(文星芸術大学 教務課)  
松本敏氏(宇都宮大学教育学部 教授)  
谷塚光典氏(信州大学教育学部附属教育実践総合センター  
准教授)

職員 佐藤修(所長)  
鈴木修(次長)  
箭内貞男(事業推進室長)  
赤澤敏樹(企画指導専門職)  
小林己伸(企画指導専門職)  
菊池呂之(企画指導専門職)  
鈴木昭博(企画指導専門職)

#### 第2回

委員 斉藤進氏(大正大学人間学部 講師)  
初澤敏生氏(福島大学 教授)  
真岡賢隆氏(文星芸術大学 教務課)  
松本敏氏(宇都宮大学教育学部 教授)  
宮腰俊行氏(いわき明星大学 教務・学生センター 教務グループ長)  
谷塚光典氏(信州大学教育学部附属教育実践総合センター  
准教授)

職員 佐藤修(所長)  
鈴木修(次長)  
箭内貞男(事業推進室長)  
赤澤敏樹(企画指導専門職)  
小林己伸(企画指導専門職)  
菊池呂之(企画指導専門職)

日程

第1回(13:00~)

所 長 挨 拶	出 席 者 挨 拶	説明 平成22年度企画事業概要説明 教育臨床及びボランティア活動の場の提供について ア 社会教育実習について イ 地域教育演習について ウ 「なすかしの森セカンドスクール」について ・ 平成23年度実施予定 ・ 平成22年度の実施状況 平成22年度までの経緯	協議 セカンドスクールについて その他	閉 会
------------------	-----------------------	---	---------------------------	--------

第2回(13:30~)

所 長 挨 拶	出 席 者 挨 拶	説明 平成22年度セカンドスクール参加状況 平成22年度社会教育実習生、ボランティア実習生受け入れ状況 平成23年度企画事業案 平成23年度セカンドスクール募集予定 平成23年度社会教育実習募集案	協議 教育臨床及びボランティア活動の場の提供について 大学の授業との連携について 平成23年度における各大学でのオリエンテーションの説明について その他	閉 会
------------------	-----------------------	---	--	--------

事業を終えて  
(成果と課題)

学生の実習報告書の中に「一番勉強になった」「行って良かった」との感想がありセカンドスクールが有意義な事業であることを担当教官等に理解してもらえた。

教官からの声かけや広報等の成果によりセカンドスクール支援スタッフが昨年の参加大学5校(東北福祉大学, 宇都宮大学, 埼玉大学, 大正大学, 信州大学)12名から本年度は7大学(東北福祉大学, 福島大学, 千葉大学, 淑徳大学, 川村女子大学, 大正大学, 信州大学)20名の参加があった。

単位修得目的で参加した学生が,セカンドスクールのよさに感動し2校つづけて参加した学生もいた。

各大学の授業日程とセカンドスクールの日程が重なり学生にとって参加しづらい状況がある。参加証明書を発行し,長期に渡り学校が休めるような支援をしていきたい。

来年の方向性

来年度以降セカンドスクール参加校が増える予定である。より多くの支援スタッフに協力していただく必要があるため,多くの大学に協力を呼びかけていくと共に,セカンドスクールに参加した学生の友人等にもピアールして参加を促していく。